

# 2024年度派遣先担当者調査結果

---

(2024年度優良派遣事業者認定制度認知度調査結果より抜粋)

# 調査概要

調査手法	インターネット調査
標本抽出	株式会社インテージ 法人パネルより抽出
エリア	全国
対象者条件	1. 会社員（係長以上クラス） + 【勤務先従業員数】5人以上 2. 公務員・団体職員
除外条件	人材業界従事者
回収数	2,105s（うち、派遣会社の選定担当者もしくは関与者 1,481s（昨年度1,514s））
実査期間	2024年7月5日～9日

（注）本調査の主目的は派遣先企業における「優良派遣事業者認定制度」の認知度を把握するものであるが、優良派遣事業者認定基準の検討や認定取得しようとする派遣会社の取組みの参考となるような関連質問も含めている。本調査結果報告書は、それらの関連質問について抜粋してまとめたものである。

# ポイント

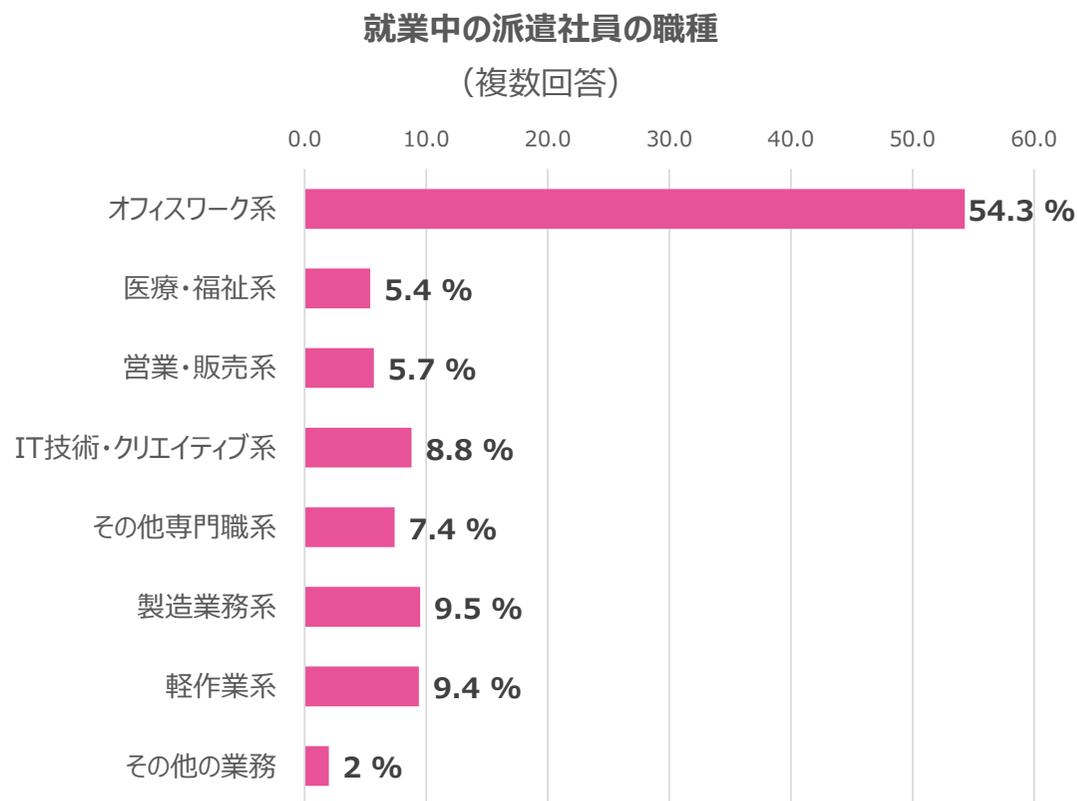
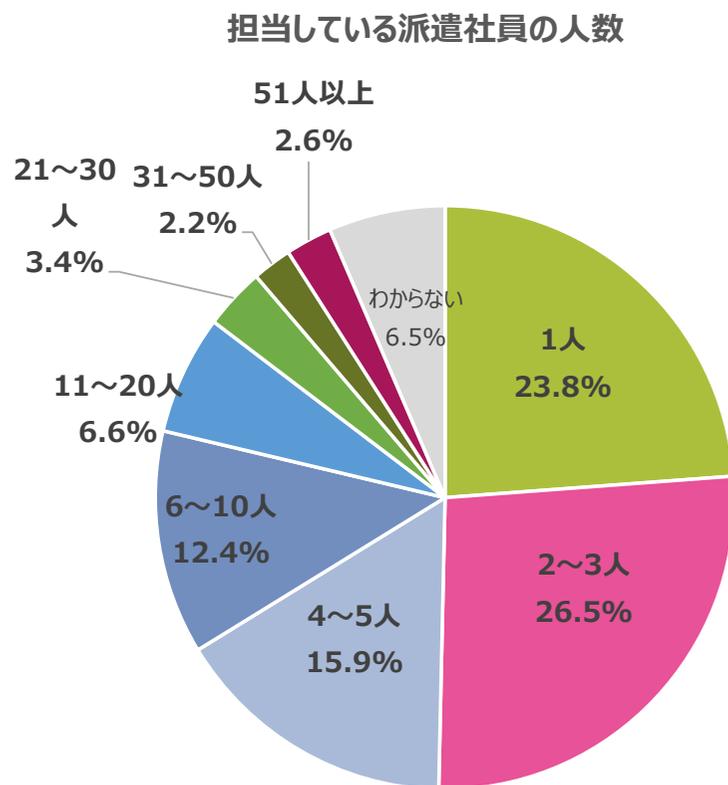
- 過去1年間に派遣会社から派遣料金の値上げ依頼があった派遣先担当者は55.4%で、7割以上が派遣会社からの依頼に応じたと回答。
- 派遣会社からの依頼に応じた理由は、「社会的な要請だから」が最も多いが、直接雇用の依頼や派遣社員の評価依頼については、「派遣社員の働きぶりに満足しているから」。
- 7割の派遣先担当者が、今後も現状規模以上で派遣を活用する意向であるが、約半数の担当者は、派遣を活用している業務そのものが継続するのは3年未満と考えている。
- 派遣社員に求めるデジタル系スキルについては、インターネット利用の基礎が最も多いが、AIの活用を求める割合が昨年度よりも増加しており、特に事務系の派遣社員に関してはそれが顕著。

# 目次

1. 派遣活用状況
2. 派遣会社からの依頼有無と対応
3. 派遣会社からの依頼に応じた理由
4. 今後の派遣活用意向
5. 派遣を活用している業務の今後の継続見込み
6. 派遣社員に求めるデジタル系スキルについて

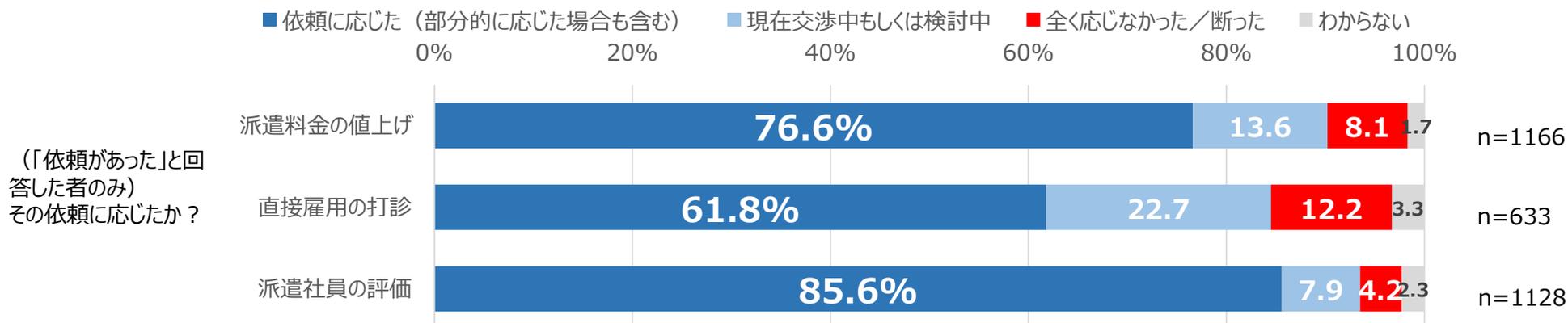
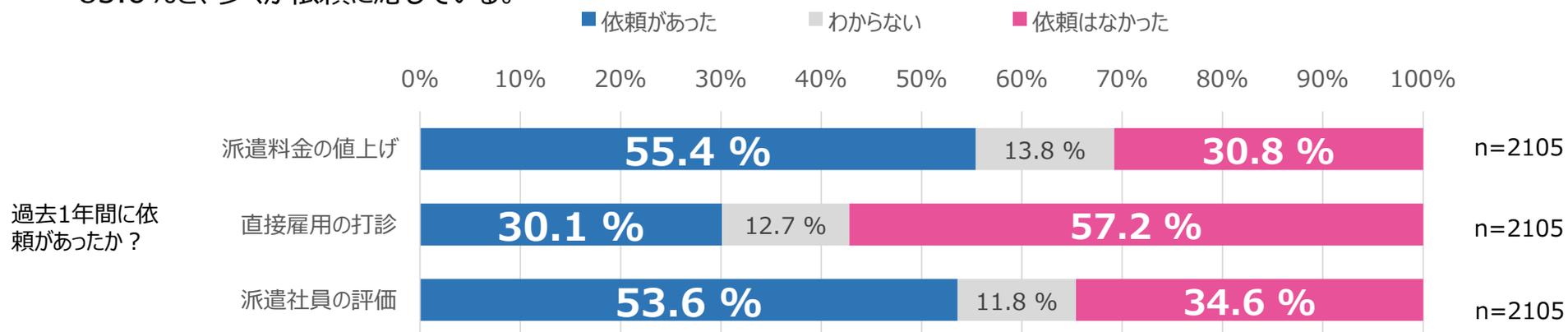
# 1. 派遣活用状況

担当する派遣社員数は**3人以下が過半数を占める**。また、就業中の派遣社員の職種は**オフィスワーク系が過半数を占める**。



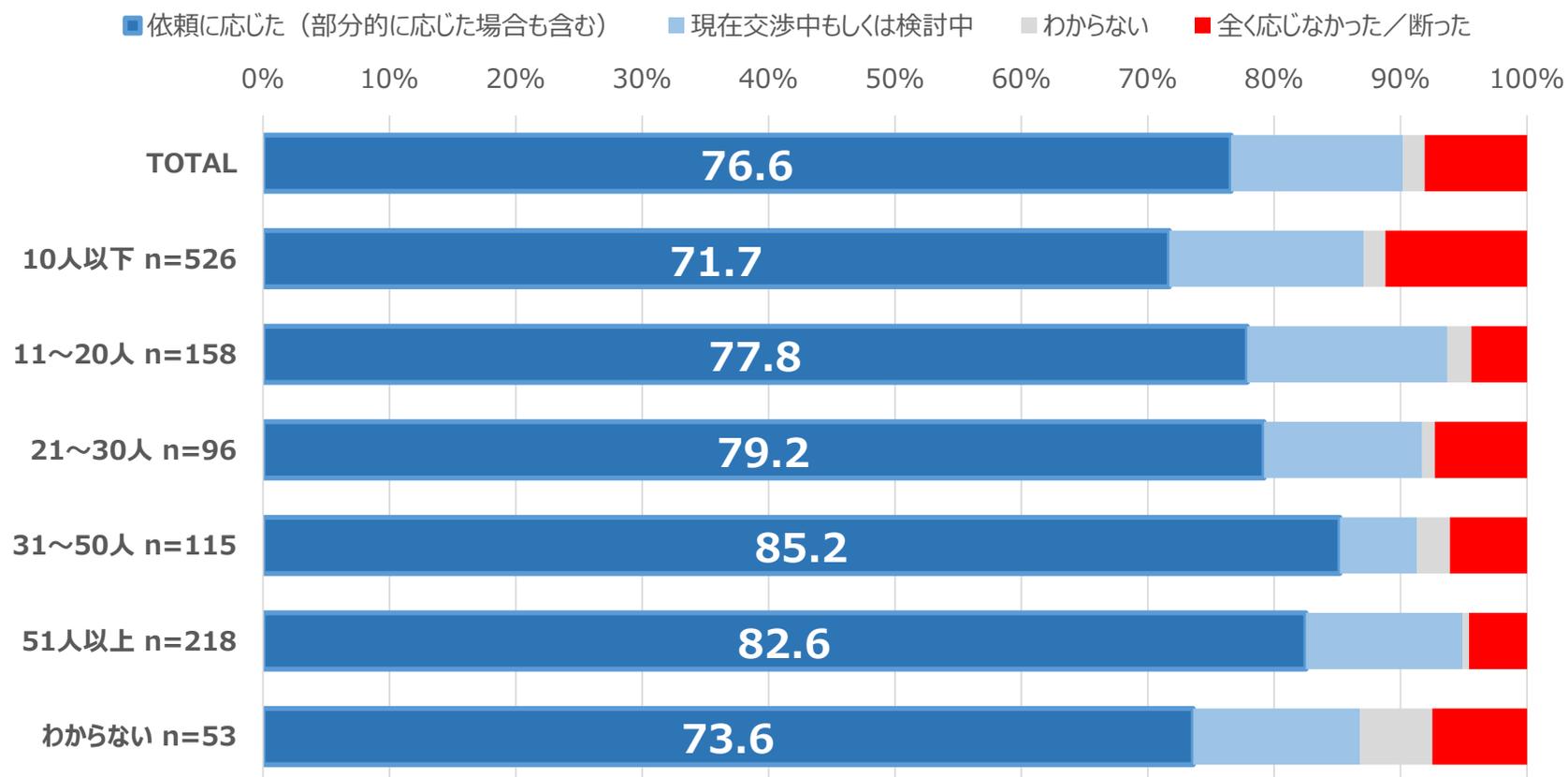
## 2. 派遣会社からの依頼の有無とそれらへの対応

過去1年間に派遣会社から派遣料金の値上げについて依頼があったと回答した者は55.4%、直接雇用の打診については、30.1%、派遣社員の評価については、53.6%であった。依頼があった場合、それに応じたという回答はそれぞれ76.6%、61.8%、85.6%と、多くが依頼に応じている。



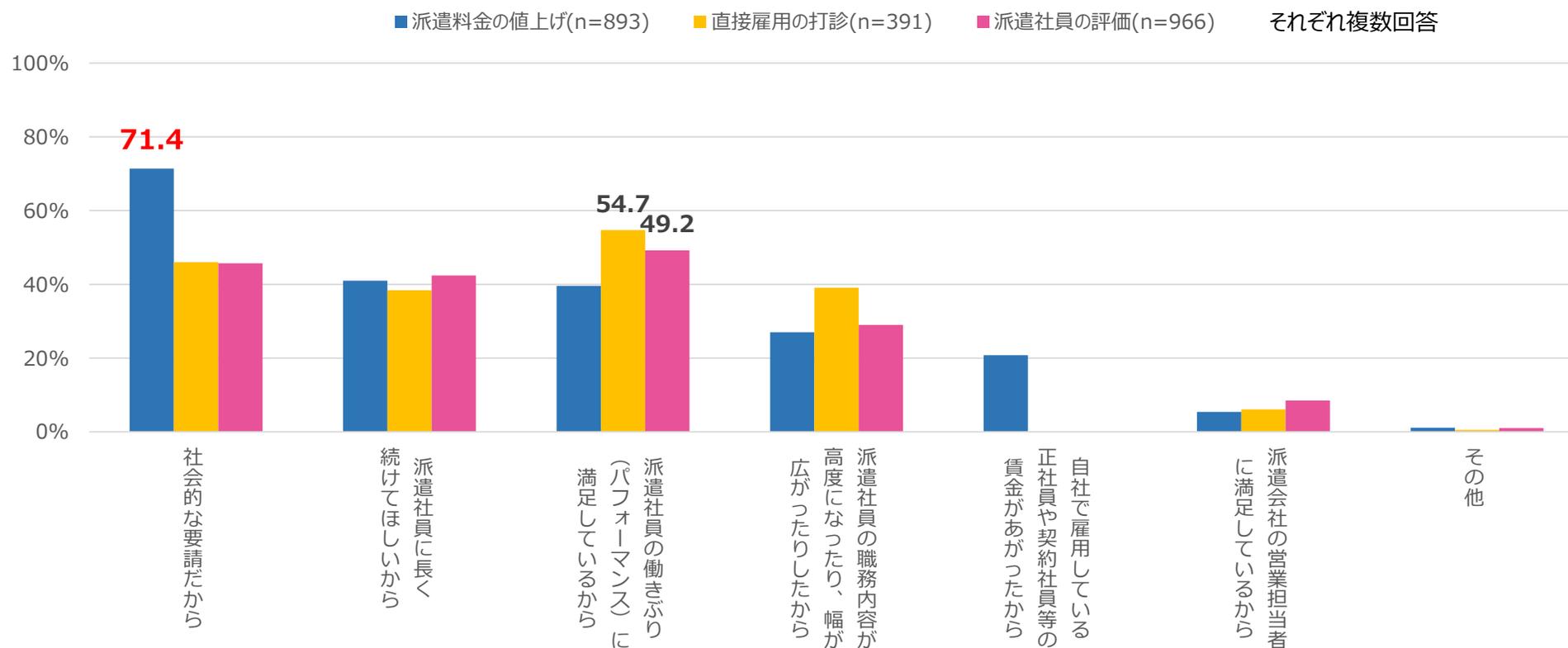
## (参考) 派遣料金値上げ依頼への対応 (事業所における派遣社員の人数別)

事業所における派遣社員の人数別にみても、7割以上が依頼に応じたという回答であった。



### 3. 派遣会社からの依頼に応じた理由

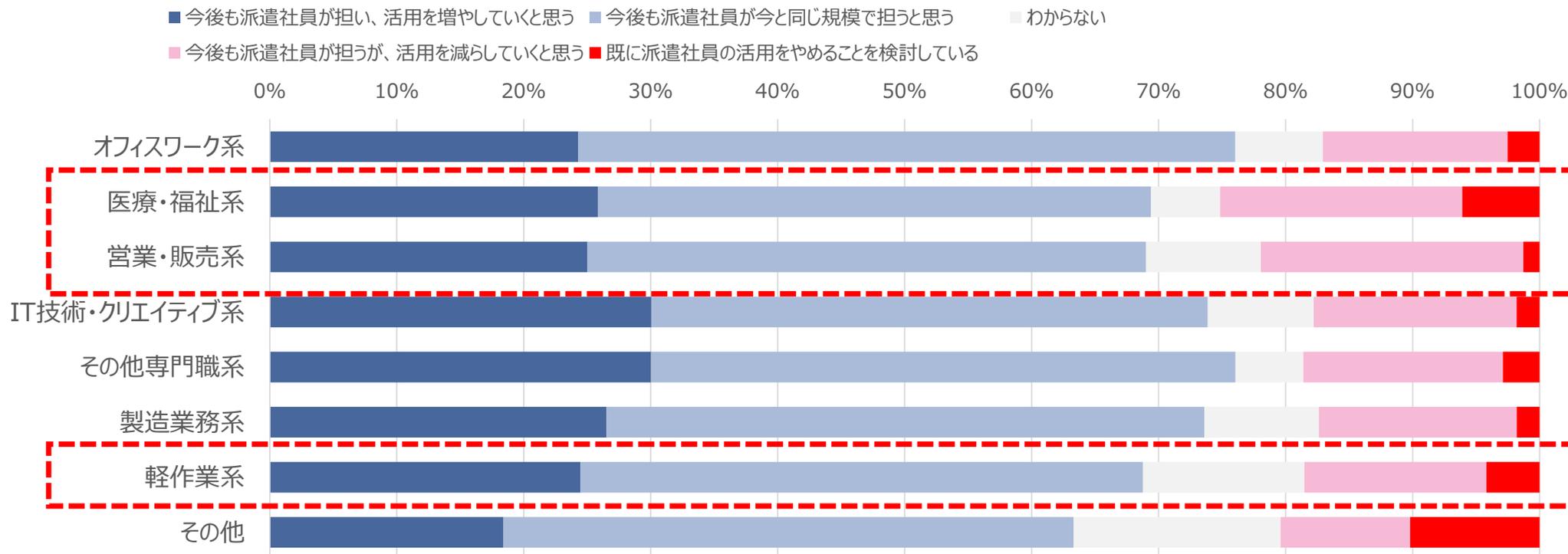
派遣会社からの依頼に応じた理由として最も多いのは、派遣料金の値上げについては「**社会的な要請だから**」で71.4%、直接雇用の打診と派遣社員の評価については「**派遣社員の働きぶり（パフォーマンス）に満足しているから**」で、それぞれ54.7%、49.2%であった。



## 4. 今後の派遣活用の意向

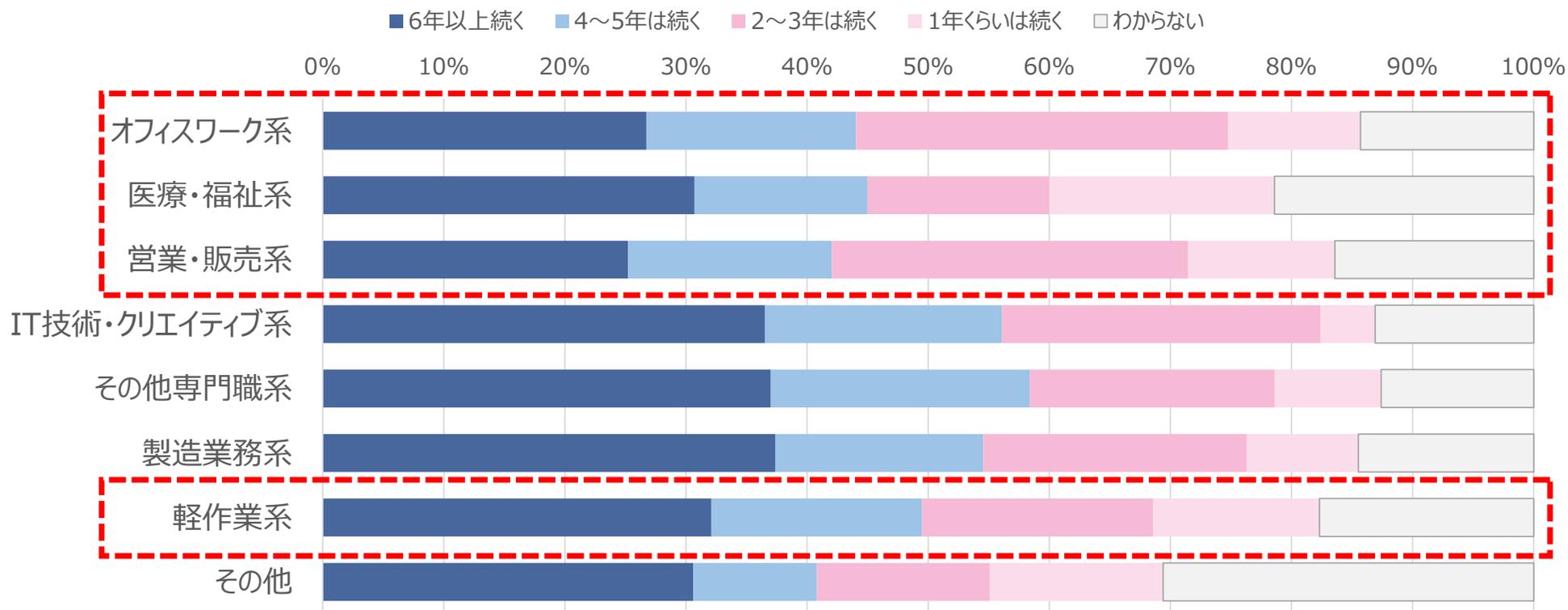
約7割の派遣先担当者が今後の派遣活用を「増やしていく」あるいは「同じ規模」と考えているが、医療・福祉系、営業・販売系職種では、今後の派遣活用を「減らしていく」あるいは「既にやめることを検討している」が2割を超えており、軽作業系では「わからない」という回答が他に比べて多くなっている。

(派遣社員が従事している職種 オフィスワーク系 n=1436、医療・福祉系 n=140、営業・販売系 n=214、IT技術・クリエイティブ系 n=312、その他専門職系 n=262、製造業務系 n=262、軽作業系 n=293、その他 n=49)



## 5. 派遣を活用している業務の今後の継続見込み

現在派遣を活用している業務そのものの今後の継続見込みについては、IT技術・クリエイティブ系、その他専門職系、製造業務系では、「4～5年は続く」「6年以上続く」の合計が過半数であるのに対して、オフィスワーク系、医療・福祉系、営業・販売系、軽作業系では50%を切っている。



## 6. 派遣社員に求めるデジタル系スキルについて①

なんらかのデジタル系スキルを求める割合は、派遣社員に対しては68.6%、正社員に対しては77.4%であった。

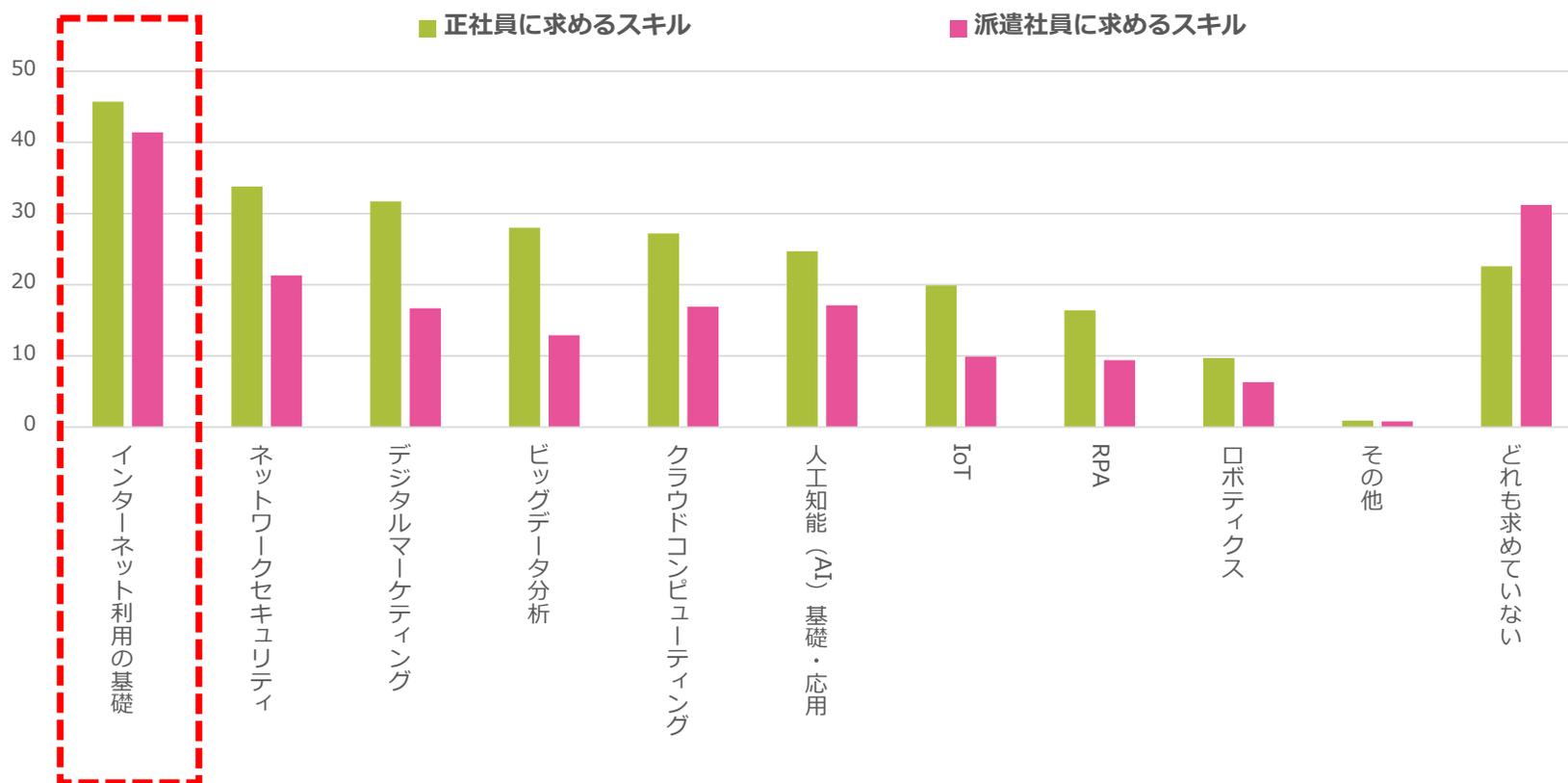
事務系の派遣社員が就業している場合に限ると、派遣社員に対して78.9%、正社員に対しては85.5%であった。

		なんらかのデジタル系 スキルを求める	どれも求めない
全体 n=2,105 (2,142)	派遣社員に対して	<b>68.6</b> (68.2)	<b>31.2</b> (31.8)
	正社員に対して	77.4 (77.5)	22.6 (22.5)
事務系の派遣社員がいる 派遣先の担当者 n=1,144(1,156)	派遣社員に対して	<b>78.9</b> (78.2)	<b>21.1</b> (21.8)
	正社員に対して	85.5 (85.4)	14.5 (14.6)

※ ( ) は2023年度の結果

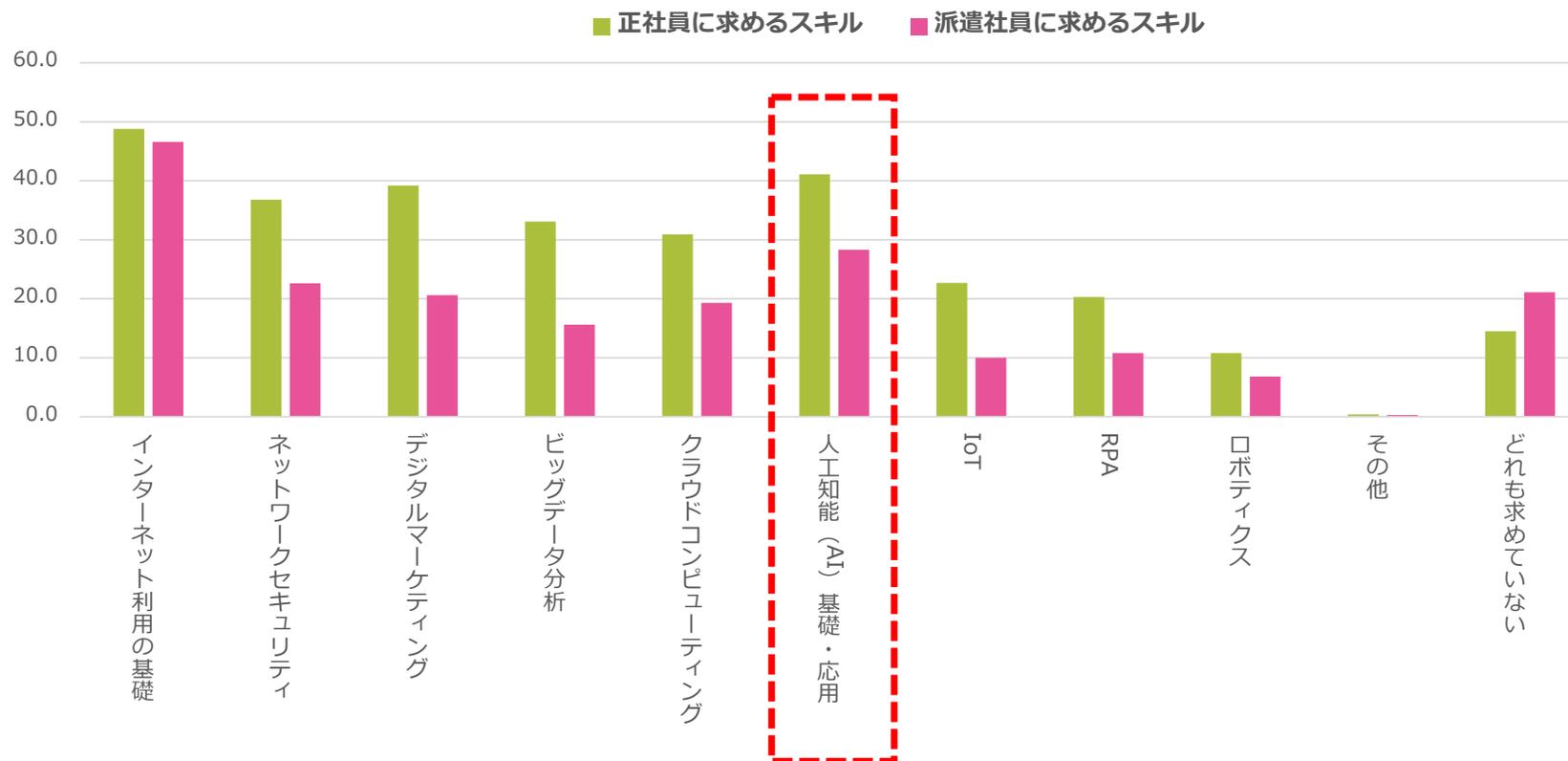
## 6. 派遣社員に求めるデジタル系スキルについて②

具体的なスキルに関しては、派遣社員・正社員ともに「インターネット利用の基礎」が約4割で最も多く、次いで「ネットワークセキュリティ」がそれぞれ21.3%、33.8%と多かった。



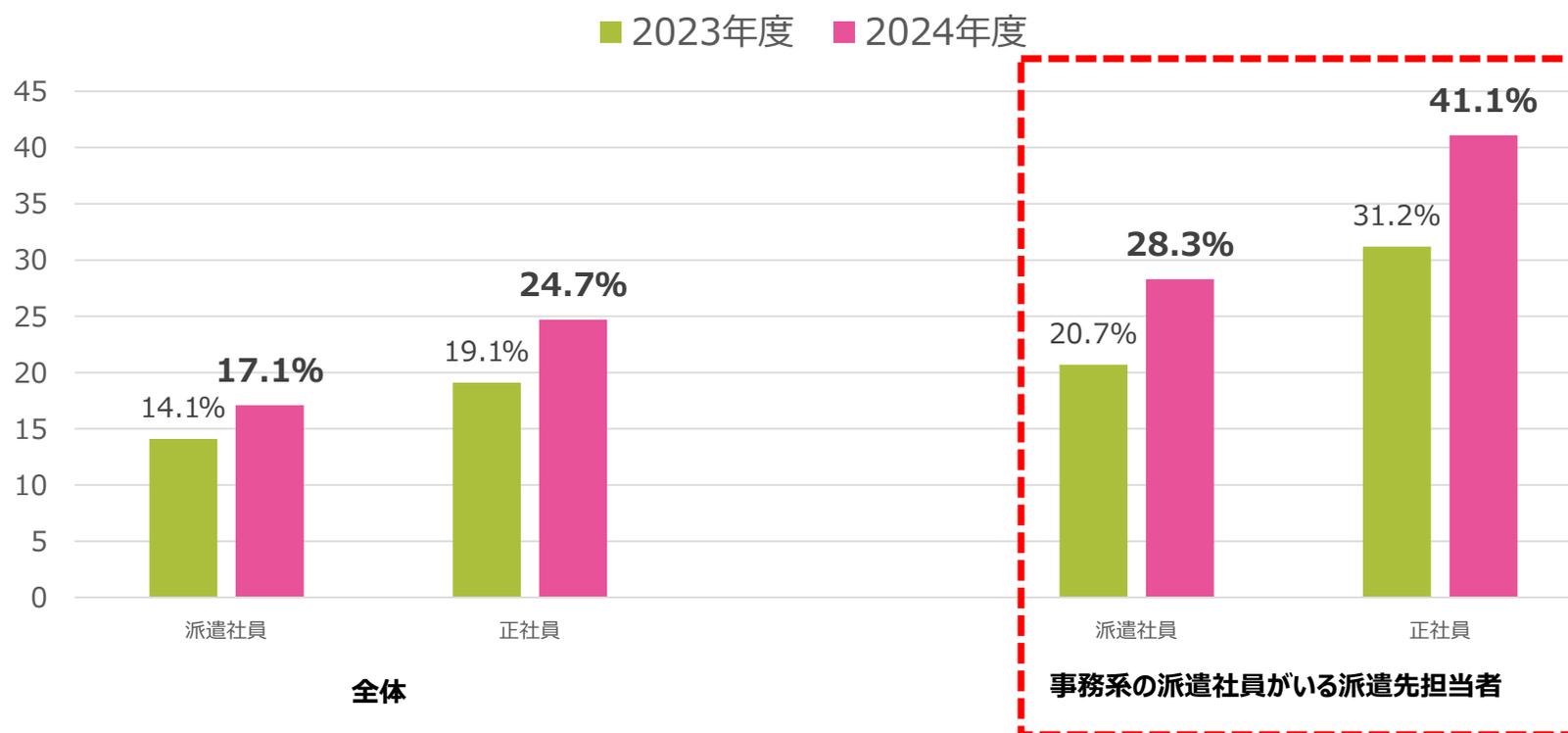
## 6. 派遣社員に求めるデジタル系スキルについて③

事務系の派遣社員がいる場合は、「インターネット利用の基礎」が派遣社員46.6%、正社員48.8%で最も多かったが、次いで多いのが、「人工知能（AI）基礎・応用」で、派遣社員では28.3%、正社員に対しては41.1%の派遣先担当者が「求める」という回答であった。



## (参考) 人工知能 (AI) のスキルを求める割合

人工知能 (AI) 関連のスキルを求める割合は、2023年度と比べて増加した。特に事務系の派遣社員がいる派遣先担当者において、派遣社員に対しては7.6pt増、正社員に対しては、9.9ptと大きく増えている。



## (参考) 本調査におけるデジタル系スキルの定義

- デジタルマーケティング：Web広告やSNSマーケティング、SEOなどのデジタルマーケティングの基礎知識
- ビッグデータ分析：ビッグデータの収集・分析方法、分析結果の活用方法など
- クラウドコンピューティング：クラウドサービスの利用方法やクラウドシステムの構築方法
- 人工知能（AI）基礎：AIの基礎知識、機械学習の理論やアルゴリズムなどの知識と、ChatGPTによる情報収集
- 人工知能（AI）応用：画像・音声認識、ChatGPTなどによる自然言語処理、生成AIなどを活用した実践的な応用業務
- ロボティクス：ロボットの基本的な仕組みや種類、制御方法、センサ技術など
- RPA（Robotic Process Automation）：自動化ツールの導入やプログラミングの知識がなくてもできる自動化プロセスの作成方法
- IoT（Internet of Things）：IoTの基礎、センサーデータの収集、データの処理、ビジネスにおけるIoTの活用など
- ネットワークセキュリティ：ネットワークセキュリティの基本概念、脅威や攻撃手法の理解、セキュリティ対策、ファイアウォールやVPNの設定、侵入検知システムなど
- インターネット利用の基礎：WEBブラウザやメール、WEB会議ツールの基本的な使い方等